

近畿病院図書室協議会  
第76回研修会

一名古屋研修会に参加して一

豊橋市民病院図書室  
春日井 泉江

私が図書室の仕事に就いて3年目になりますが、その間、新しいことを始めるきっかけとなったのはいつも、研修会で得た知識と何よりも「やる気」でした。特に今回は会場が名古屋地区で、同じ公立病院ということもあり「目標にさせてもらおう」と当日をとても心待ちにしていました。

研修会では近隣からの参加者が少なかったのが残念でしたが、それに勝る、遠方から参加された方々の熱心さには感心させられました。テーマについても、事前には、「うちの現状ではまだまだ出来ていないことが多いから、今後の参考のために聞いておけば」ぐらいの気持ちだったのですが、実際にお話を聞いてみると、考えさせられる点も多く、たいへん勉強になる1日でした。

しかし、私にとってなによりの収穫は、日頃、お世話になっている方々に直接お会いできたことです。

以前から、顔を合わせることの必要性は感じていたのですが、豊橋市は近くにネットワークもなく、なかなか、その機会がありませんでした。そこで、私は一昨年の研修会での出会いを機に、県境を越えて出かけてみることにしました。

ご存じの方も多いとは思いますが、静岡県には「静岡県医療機関図書室連絡会」というネットワークがあります。その中の、静岡県西部で行われている、「浜松市病院図書室勉強会」という担当者同士による自主的な勉強会に、私は1年程前から参加させていただいています。

そこは、今回のような大きな研修会とはまた違う雰囲気集まりです。より実務に近いテーマを中心に、話し合いの形で和やかに進められます。例えば、日常業務の中での疑問や問題点について、他機関の実例を教えあったり、皆で解決策を考えたりと、ともすれば担当者一人ですべてを背負いがちな、病院図書室においては、心強い味方となっているのではないのでしょうか。

まだまだ周囲の皆様に頼りっぱなしの私であり豊橋市民病院図書室ですが、この研修会をきっかけとし、より良い図書室を目指していきたいと思っています。

貴重な機会をありがとうございました。

[第76回研修会]

日時：1995年11月22日（水）10:45～16:00

場所：公立陶生病院

会費：会員 1,000円 非会員 1,500円

プログラム：

1. 公立陶生病院の概況  
報告 伊佐治裕子（公立陶生病院）  
岩瀬真奈美（公立陶生病院）
2. 日本十進分類法新訂9版の看護分野についての評価  
講師 山添美代  
（厚生省看護研修センター講師）
3. 和雑誌特集記事“-カ”-の紹介  
講師 松下茂（サンメディア）  
湯浅智之（サンメディア）

参加者：18名（うち非会員2名）